



# 二酸化炭素を削減する行動が必要 100年あたり1.5度気温上昇

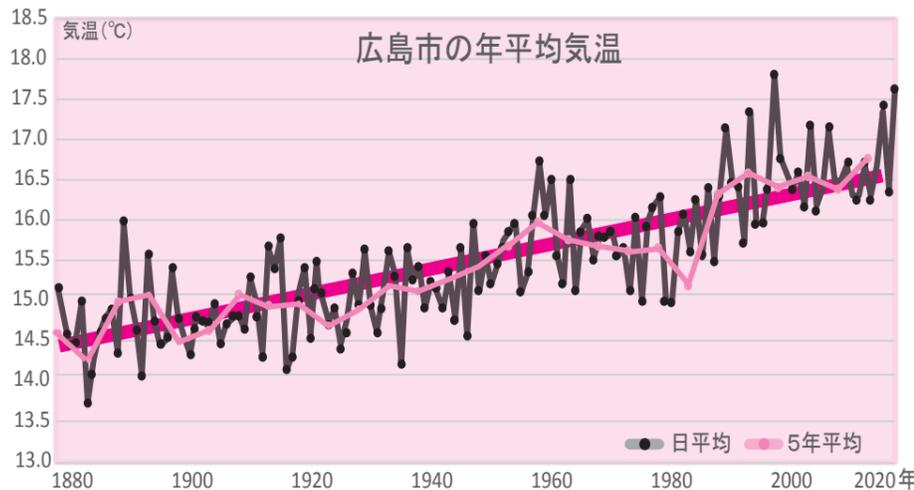
第2回目は、広島地方気象台で長期間にわたって観測している気温のデータを紹介します。から、広島県の気候が

前号でお話しましたとおり、「今の若い者は・・・!」、昔は夏もエアコンなしで過ごしたもんだ!」などの言葉を聞くことがありますが、まさに昔の若者が体験した気温と、今の若者が体験している気温に違いがあること

気温の他、年間の真夏日日数(日最高気温30℃以上の日)には変化傾向はあまり見られませんが、年間の熱帯夜日数(日最低気温25℃以上の日)は増加傾向に、年間の冬日日数(日最低気温0℃未満の日)には減少傾向が見られます。

気温の変動には、地球温暖化の影響や、数年〜数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なっています。広島市の場合にはさらに都市化の影響も強く表れていると考えられます。

どのように変化しているのかお話しします。図は、広島市の年平均気温の経年変化を示しています。広島市では100年あたり1.5℃の割合で上昇しています。100年間の変動を見ればわかる通り、広島県も例外なく地球規模で起きている二酸化炭素などの温室効果ガス濃度の上昇を起因とする地球温暖化の影響を受けているのです。



はわかりただけかと思えます。今後、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減対策がほとんど進まず、地球温暖化が最も進行すると想定した場合、21世紀末(2076〜2095年)には広島県の年平均気温が約4℃上昇すると予測されており、現在の種子島(鹿児島県)よりも高くなります。これにより広島県でも、熱中症の増加、収穫できる農作物や魚介類などの変化が予想されており、緩和に向けた行動が必要となります。

10月13日(土)、広島市東区二葉の里にある広島県禁煙支援センター(第16回研修会)が開催され、禁煙支援活動に

話題の健康づくり  
アラカルト  
⑳ 禁煙支援ネットワーク研修会



## 平成30年度予防医学事業推進 中国・四国地区会議開催 最新知見を学び、意見交換

平成30年11月8日(木)、広島市南区松原町のホテルグランヴィア広島において、平成30年度予防医学事業推進中国・四国地区会議が開催されました。

この会議は、(公財)予防医学事業中央会(以下、中央会)の本部及び中国・四国地方各県支部が参加する会議で、予防医学に関する最新の知見を学ぶとともに、組織運営や検査技術などに関して意見交換を行い各支部の活動を活性化させることを目的として、中央会と担当支部の共催で毎年開催するものです。今年度は、当協会が担当支部を務めました。

今回の会議では、中央会の山根則幸専務理事から、本部報告として「健康診査事業の最近の話題」と題した情報提供がなされ、続いて「運営会議」、「業務会議」及び「技術会議」の3つの分科会に分かれ、各支部から提案された52議題に関して意見交換がなされ

ました。山根専務理事からの情報提供では、最新の知見として「第3期特定保健指導の運用見直し」、「第3期がん対策基本計画」、「第25回がん検診のあり方検討会での検討内容」などの国が進める健康施策についての解説や、中央会の最近の活動内容などについての説明がなされました。

また、分科会において「有期労働契約の無期労働契約への転換」などの労働者雇用に係る課題や、「特別警報等、災害発生時の開催中止の判断」といった自然災害への対応、「腹部大動脈の検査」といった技術面の課題など、多岐にわたって活発な議論が交わされた後、会議は閉会しました。

来年度は、島根県支部である(公財)島根県環境保健公社が担当して、島根県松江市で開催の予定です。  
(健康科学センター 巡回健診課)



業務に関する分科会

## たばこのない世界をめざして!! 地域で取り組む実践活動へ

取り組むたばこ対策を  
考え、実践活動に活か  
してもらおうことを目的  
として、広島県禁煙支  
援ネットワークがひろし  
ま健康づくり県民運動  
推進会議と共催して毎  
年開催しているもので

広島看護大学名誉教授  
と広島国際大学看護学  
部看護学科の藤井紀子  
准教授に講演していた  
だきました。

特別講演では、産業  
医科大学産業生態科学  
研究所健康開発科学研  
究所 中電病院、(公社)広島

また、禁煙支援ネッ  
トワーク関係団体であ  
る、(社)福山市医師会  
(社)広島県歯科医師  
会、中国電力株式会社  
中電病院、(公社)広島

県薬剤師会及び広島県  
健康福祉局の5団体か  
らは、禁煙等に関する  
最新の知見についての情  
報提供がなされ、参加  
者はメモを取るなど、  
熱心に聴講し盛況のう  
ちに閉会しました。  
(企画調整課  
藤原慎吾)

関心のある個人や医師  
など、120名が参加  
しました。この公開講座は、医  
療保険関係団体のたば  
こ対策への取り組みや禁  
煙支援活動に関する事  
例などを学び、地域で

す。今回は「たばこのな  
い世界をめざして!!」  
私たちにできること」  
をテーマとし、基調講  
演では、禁煙支援ネッ  
トワーク運営委員長であ  
る川根博司日本赤十字

研究室の大和浩教授が「た  
ばこ対策最新情報」改  
正健康増進法、三次喫  
煙、加熱式たばこの構  
造と対策」と題して、  
企業における禁煙活動  
の取り組み状況や加熱  
式たばこの有害性など



広島県禁煙支援ネットワーク公開講座受講者